



2003.7.15
三国川ダム管理所発行

ダムっ湖



7月27日(日)「しゃくなげ湖まつり」開催!

「森と湖に親しむ旬間(7月21日～7月31日)の最も盛り上がるイベント「しゃくなげ湖まつり」を今年も開催します。

7月27日(日)、会場は三国川ダム周辺、魚つかみ取り、Eボートでダム湖周遊、監査廊探検その他諸々、詳しくは別のチラシをご覧ください!

夏休みも遊ぶところたくさん!

三国川ダム周辺は、アウトドアライフに最適なフィールド。その湖畔には、奥五十沢溪谷、十字峡親水公園、オートキャンプ場、テニスコート、つり堀、しゃくなげ湖ボートパーク、露天風呂、運動公園、観光センターなど、アクティブなスポットがいっぱい。

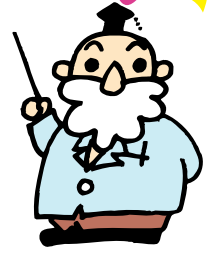
三国川ダムで思いっきり自然を満喫してみたいと思いませんか。



さぐくん りっちゃん



なぜ水が少ないの？



はかせ さぐり博士

さぐくん : ねえ、さぐり博士。今日の三国川ダムは水が少ないね。
春に来たときは多かったのにどうしてかな？

さぐり博士 : いいところに気がついたね。この前、三国川ダムの1番の役割は「洪水を防ぐため」だという話はしたね。洪水を防ぐためには大雨の水をため込まなくてはいけない。そのためにはダムにたまっている水を減らして、いつ洪水になってもいいように備えておく必要がある。だから梅雨や台風の多い夏の間はダムの水位をさげているんだ。

三国川ダムでは6月1日から9月30日までを洪水期といい、この間、水位を約30m下げて100年に1回起こる大きな洪水に対しても安全なように備えています。



—三国川ダム 警報車—
放流の前には、この車で河川敷をパトロール。堤防の上から巡回します。



— BEFORE —
① 夏期における普通の三国川



— AFTER —
② 雨降って荒れ荒れ、濁流の三国川

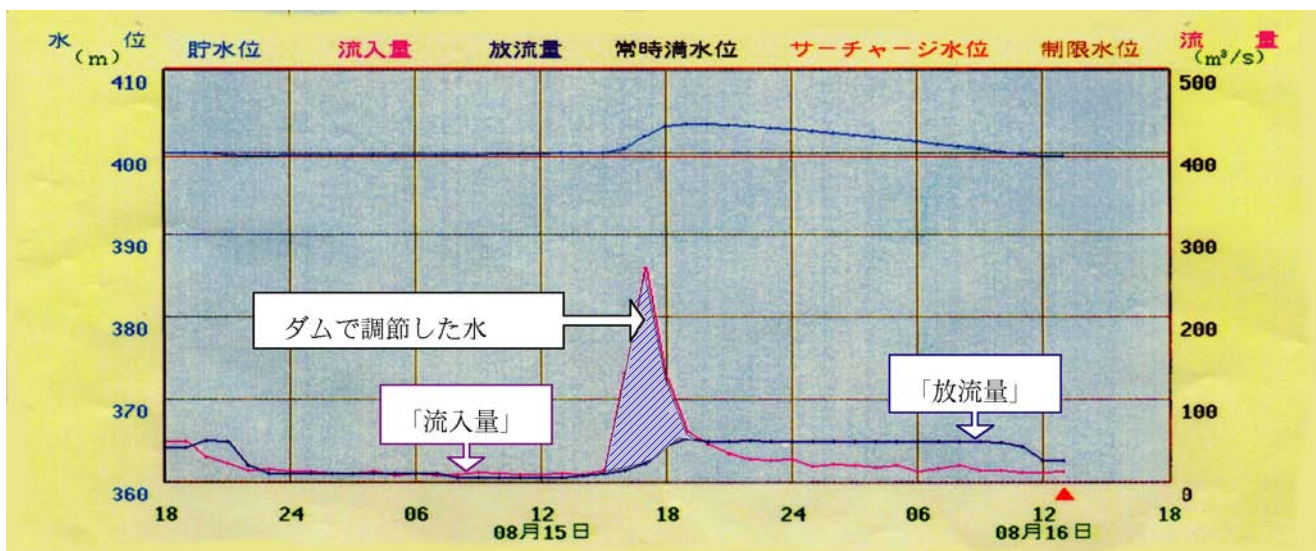


— 洪水時の水量の推移 (平成14年8月15日の状況) —

桃色の線が上流から流れてきている水の量、青線がダムから放流している水の量を表します。

この洪水は、過去2番目の規模の出水となり、最大流入量は265.5[m³/s]を記録しました。

この三国川ダムがなければ、流入した水がそのまま三国川に流れ、堤防を越水する危険があります。そのため、ダムで一時的に貯留(図の青色斜線部分)し、ダム下流に流れる水の量を調節します。これがダムの役割「治水」といわれる部分です。



インタビュー

今回は、三国川ダム周辺のレクリエーション広場などを運営している財団法人しゃくなげ湖畔開発公社について、理事長の長 嘉松さんから紹介して頂きます。



理事長 長 嘉松さん

【公社設立の経緯】

思いおせば背筋が寒くなる昭和44年8月11日～12日にかけて未曾有の大水害が起こり、地域に甚大な被害が出ました。この災害を二度と起こさないために、当初県でダムの調査が始まり、その後当時の建設省直轄工事により建設が進められ、平成5年に三国川ダムが完成しました。

当時町会議員であった私は、ダムと共に地域の発展を考えた時に、第三セクターの設立を計画し、町当局及び地域住民の皆さんと再三の協議を重ねた上で、町と地元の基金で発足し現在に至っております。

【目的】

本財団は、三国川ダム（しゃくなげ湖）及び越後三山只見国定公園を中心としたしゃくなげ湖周辺の恵まれた自然環境と山岳景観を有効に活用し、地域の特産品開発、余暇活動にふさわしい観光レクリエーション事業の振興等を行い、活力ある地域づくり公共福祉の増進に寄与することを目的としています。

【設立年月日】 平成2年5月10日

【事業の内容】

- (1) 地域の特性と魅力を広く普及するためのイベントの実施。
- (2) 地域の資源の活用による、特産品の開発及び事業化、郷土食文化の再生と創作活動。
- (3) 観光レクリエーション事業の振興のため、公共施設等の管理運営。
- (4) その他、前条の目的を達成するために必要な事業。食堂・売店・キャンプ場・バンガロー・釣り堀等管理運営。



しゃくなげ観光センター全景

「涼」

三国川ダムでは、月、火を除く毎日、ダム点検用のトンネル（監査廊といいます。）の案内を行っています。

このトンネルはダムの地下約100mにあり、1年を通じて気温が11度と今の季節には最高の「涼」スポットではないでしょうか。

ぜひ、この暑い夏、皆さん涼みに来てください。

ちょっと堅いお話と併せてご案内いたします。



1日6回 (9・10・11・13・14・15時からの各回40分程度)

各見学開始時間の10分前までに展示室受付へお越し下さい。

ダム周辺のレクリエーション広場の紹介



至六日前



ダム見学

浦佐小学校の巻



5月9日に大和町の浦佐小学校4年生の皆さん51名が、社会科の学習で三国川ダムを見学にいりました。前日の雨模様とは一転、好天に恵まれた屋外でダムの役割などの説明を受けた後、監査廊（点検用地下トンネル）とダム操作室の見学を行いました。

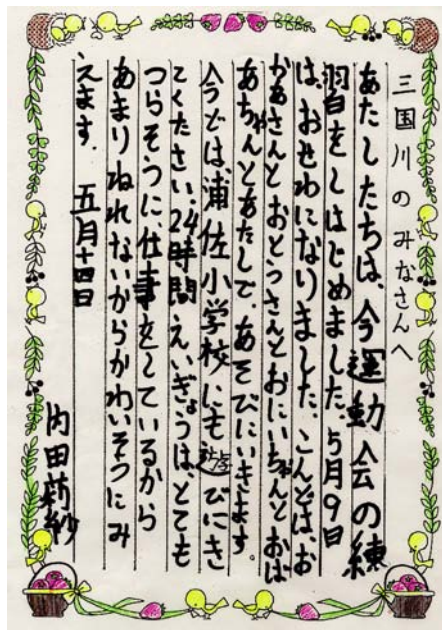
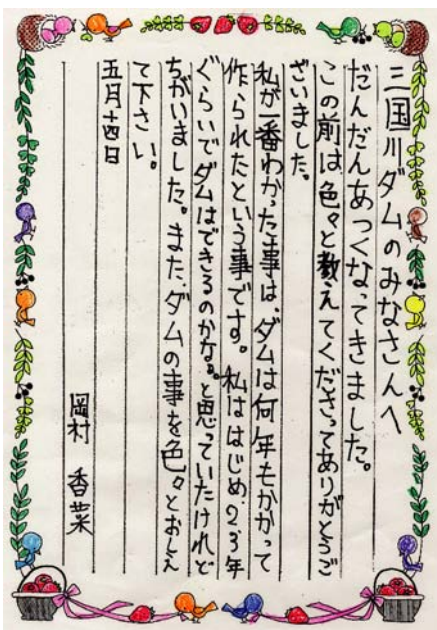
事前学習を充分行ってからの見学ということで、すぐに答えられない質問も多く、担当職員は「冷や汗」が止まらない2時間だったようです。



社会(総合)学習のお手伝いを行っています。

申し込み・お問い合わせ先

三国川ダム管理所 総務係
TEL 025-774-3015



いつでも、どこでもリアルタイム三国川ダム

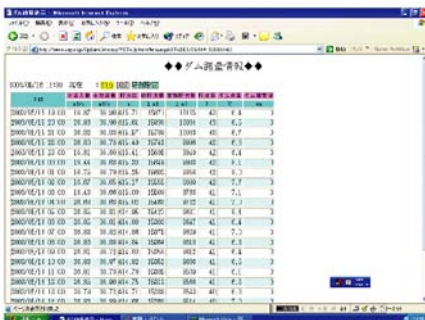
三国川ダムホームページでダム周辺のライブ映像配信中



www.hrr.mlit.go.jp/saguri/に今すぐアクセス



ライブ映像



ダム放流量等の各種情報もご覧になれます

※出水時のゲート操作・メンテナンス等により、一時的に配信を停止する場合があります。



⑥

そこんしょのじいちゃんがでったせ

76.2MHz

▶▶▶ 「しゃくなげ湖だより」放送中 ◀◀◀

- ◎ きんな朝げ10時のお茶をちっと早かったども飲んでたら、「なんとか湖だより」ってがをラジオでやってて、そこんしょのじいちゃんがでったせ。
- あらおごった。おらじいちゃんなんしたろ。いねんこと言ってなかったべかね？
- ◎ んーん。ダムだの、三国川だの、たっぼしてて一服しただの言ってたぜ。
- だっけばいいども。あーしょーしー。

FMゆきぐに「76.2MHz」で毎週火曜日の午前9時40分から9時50分までの10分間、三国川ダム情報番組「しゃくなげ湖だより」を放送しています。

三国川ダムに来られた方の声、地域の方の声、ダムの見所などダムに関する情報を発信しますので、ぜひ一度お聴き下さい。聞いたことがある声が聴けるかも？

「水源地域ビジョン」を策定中です

【水源地域ビジョンとは？】

今までのダムは治水や利水を目的に造られてきましたが、これからのダムはさらに水源地域の活性化の核としても期待されています。水源地域活性化のための行動計画を「水源地域ビジョン」といいます。

【三国川ダムでの取り組み】

三国川ダムでは、昨年10月、地元自治体・有識者、学識経験者、ダム管理者からなる「三国川ダム水源地域ビジョン検討委員会」を立ち上げ、検討を進めてきました。昨年末には「三国川ダムの水源地域をもっと楽しく！もっと元気に！」と題してアイディアの一般公募も行い、小学生も含めて11件ものご提案を頂きました。

引き続き、皆様からいただいたアイディアを参考にさせて頂きながら、今年度内の策定にむけて検討を進めていきます。

しゃくなげ湖周回道路で「自転車ロードレース大会」を開催

昨年3月にしゃくなげ湖周回道路(1周12km)が、平成21年に開催される新潟国体の自転車ロードレース会場に決定されたことから、今年9月7日(日)に同会場を使用して「NIIGATA六日町サイクルロードレース(兼第4回新潟県自転車ロードレース選手権大会)」が、小学生の部から登録競技者の部までの7クラスに分けて開催されます。

ぜひこの機会にロードレースの醍醐味を体験してみたいはいかがでしょうか。

問い合わせ先：六日町教育委員会 生涯学習課 TEL025-773-6610

編集後記

これからが夏本番、暑いときは水遊びが一番。27日の「しゃくなげ湖まつり」を皮切りに、三国川ダムでは、いろいろと水に親しみ遊ぶことが出来ます。この夏一度は三国川ダムに来てみませんか！

2号も三国川ダムの情報が満載です。広報誌に関わらずご質問・ご意見がございましたらお気軽にお寄せください。お待ちしております。

(編集部一同)

◆編集・発行◆

国土交通省北陸地方整備局
三国川ダム管理所

〒949-6741
新潟県南魚沼郡六日町大字清水瀬686-59
TEL (025) 774-3015
FAX (025) 774-3092
<http://www.hrr.mlit.go.jp/saguri/>

